

知立駅周辺エリアプラットフォーム
2025年度 第3回検討会議 議事概要

日時：2026年1月27日(火)10時から12時

場所：知立市中央公民館 大会議室

参加者：会員19名、オブザーバー8名、事務局13名

1. 開会あいさつ

- ・ 最終目標である「市民の皆さんが愛するまち・信頼できるまち」に向けてご議論お願いします。

2. 今年度の活動状況の報告

(1) エリアプラットフォームの活動状況について

- ・ 事務局より、各部会の活動状況について報告

(2) 各プロジェクトの実施状況について

- ・ 事務局及びプロジェクト実施者より、各プロジェクトの実施状況について報告

<プロジェクト一覧>

- ① 駅前暫定広場の利活用プロジェクト
- ② まちなか事業者誘致プロジェクト
- ③ 高齢者居住サポート実証プロジェクト
- ④ 東海道まちなみ修景プロジェクト
- ⑤ 公共空間デザインプロジェクト

3. 意見交換

- ・ 数値目標に設定されているような、交流人口500万人の実現はぜひ期待したい。その一環として、高架下の利活用や堀切公園について、多目的ホールやギャラリーなど人が集える場所づくりに向けて、商工会を含む4団体で要望を出している。(商工会)
➔ 要望についてはとりまとめて回答を予定している。西新地の生涯学習センターの計画と合わせて、エリアで考えてご要望には応えていきたい。(経済課)
- ・ 知立まちづくり会社がある中で「まちづくり会社」との違いはどうか。(商工会)

→ここで「まちづくり会社」と呼んでいるのは総称であり、知立まちづくり株式会社とは異なる。部会で議論しているのは「まちづくり会社」の役割を知立まちづくり株式会社が担えるかどうかを議論している。市役所が直営で担うよりも、第三者に担うのが良いのではないかと検討している。(経済課)

- ・ 工程やスケジュールはどうか。(商工会)
 - 鉄道高架が完成する令和12年度に設立、その後都市再生推進法人に踏み切ることができればと考えている。さしあたっては、暫定広場の管理運営を移管するところから始めたい。(経済課)
- ・ 連立と区画整理のスケジュールは別と考えることは出来ないのか。先だって区画整理を進めることは出来ないのか。(商工会)
- ・ 駅前広場の設計について、3団体(一般社団法人ゆめナビジャパン、商工会青年部、JC)との話し合いの経緯と3団体の考えを教えてください。(商工会)
 - 現在の駅前広場の案については、市とコンサルが中心となって提案したものであるが、3団体との協議の中ではその案になった経緯を説明し、3団体からも代替案の提案もいただき、その都度協議を行っている。電源や社会実験、自家用車乗降場の活用など、協議の中で出てきた要望を反映している部分もあり、引き続き検討を進める予定である。(経済課)
- ・ 駅前広場だけでなく、エリア全体として公園等も活用して考えていきたい。1,500m²というのを1つの目安として、必要な設備等についても協議を進めている。要望が十分に反映されているとは言い難いが、引き続き協議により実現を目指したい。(藤田屋)
- ・ 将来的な交番の移設、トイレの設置、南北線のバスターミナル化を提案する。(商工会)
 - トイレについては現在、高架下空間に設置する方向で名鉄に相談しているところである。(都市開発課)
- ・ まちづくり会社について、運営主体はどのようになるのか。(商工会青年部)
 - まだ検討中であり、知立まちづくり株式会社が担うのか、別で立ち上げるのか、検討しているところである。(経済課)
- ・ どんな運営体制で実施するのか、具体的な事業は何か、などのイメージが十分に理解できないため、事例や詳細など、別の機会でもよいのでぜひ紹介いただきたい。(商工会青年部)
- ・ 季節性イベントによるイベント集客と賑わいの向上、〇〇街道のような通年の集客の仕組みをぜひ考えたい。それと合わせて、広場については1,500 m²は確保したいという思いもある。ロータリーなど様々な制約があることはわかっているが、引き続き協議

を行い、それぞれのニーズが満たせる仕組みにしてほしい。(藤田屋)

- ・ 未来の知立の子供たちのために、堀切公園や駅前公園を名所になるような場所になるよう、議論をしてほしい。(ゆめナビジャパン)
- ・ 東海道のこともしっかり再生して考えていく必要がある。市民の認知度も低く、新しいものだけでなく、古いものの価値を見直すことも大事にしていきたい。(隅田会長)

以 上